

平成29年度第1回福井県長寿医療運営懇話会概要

日 時 平成29年10月12日（木）午後1時30分～2時40分
場 所 福井県自治会館 6階 602研修室
出席者 齋藤会長、五十嵐副会長、加畑委員、近藤委員、奥西委員、小川委員、田中委員
事務局 大石事務局長、塚田事務局次長、高谷業務課長 他6名

- 1 委員の委嘱
- 2 事務局長挨拶
- 3 会長の選出……………齋藤委員を選出
- 4 副会長の指名……………五十嵐委員を指名
- 5 協議・報告事項
 - (1) 後期高齢者医療制度の概要……………資料1により事務局説明（事務局次長）
 - (2) 保健事業実施計画（データヘルス計画）について……………資料2により事務局説明（課長）
 - (3) 療養費支給申請書保険者点検事業について……………資料3により事務局説明（課長）
 - (4) 平成30・31年度保険料率改定について……………資料4により事務局説明（課長）
- 6 その他

次回懇話会の開催日程

平成29年12月21日（木） 午後1時30分から

協議・報告事項に対する質問・回答・意見

【後期高齢者医療制度の概要】

【委員】 1人当たりの年間医療費をみると、平成27年度と比べ平成28年度は約12,000円医療費が減っているが理由は。

〔事務局〕 薬価単価の見直しにより単価が下がったため、その影響があったと思われる。

【保健事業実施計画（データヘルス計画）について】

【委員】 歯科健診受診の達成率が低いということで、これは歯科健診が整っていないで進まなかったという説明があったが、歯科健診については、平成27年2月か3月頃に日本歯科医師会から情報が入り、担当の医師とこちらに来て話をしている。27年度から実施すると思っていたが、全県的にやっている県がないという理由からか、取り組みもしなかった。28年度に取り組むにあたっては、十分に話を行情報提供もしている。29年度からは各市町ともアプローチがあったが、功を奏しておらず広域連合がどのくらい努力をしたのか歯科医師会としても大いに疑問がある。我々はやれることは一生懸命やらせていただいている。

〔事務局〕 こちらの段取りが悪くご迷惑をお掛けした。

【委員】 終わったことは仕方がない。30年度、31年度に向けて話をしていきたい。前向きに考えてほしい。

〔事務局〕 市町が全部できないということであれば、広域連合として実施するという方法も選択肢として検討を考えたい。

【委員】 人間ドック受診者数は今年度の指標で450人のところ695人、昨年度も420人のところ約530人という結果がでていることから、こういった健康事業に積極的に取り組んでいただきたい。

【委員】 健診受診率は22%となっているが、これは病院にかかっている受診者数も含めての受診率になっているのか。

〔事務局〕 病院にかかっているデータを貰って、健診扱いということは行っていない。

【委員】以前、健診のチラシを作っていたように思うが、今後もチラシの作成を継続してやってほしい。健診と介護は関連しており、健診受診率が低いと、どうしても介護を受ける率が高くなる。介護を受けないために健診を受けるということが必要。

〔事務局〕健診については市町にお願いしており、各市町でチラシを作成したりしている。広域連合からは健診に関するチラシは出していない。

〔事務局〕健診者を見てみると、同じ人が受けていることが多く、受けない人は全く受診していない。少なくとも5年に1回程度は受診してほしいと考えている。

【委員】健診を受ける人は受ける、受けない人は受けないということであったが、受診勧奨はしているのか。

〔事務局〕市町によっては促しているところもあると思うが、詳細は分からない。

【委員】新規事業の低栄養・重症化予防事業だが、健診の結果データなど大きなデータベースからスクリーニングをかけていくことになると思うが、この情報の網にかからない人いかにアクセスしていくか、地域包括センターや各市町の地域ケアなどとの連携し、そういった人たちを拾い上げていく必要がある。

【委員】平成29年度から総合支援事業の介護予防の部分が各市町に移行されたが、健診や歯科健診についても、総合支援事業の中に盛り込んで抱き合わせで行うなど、総合的な取り組みもいいのかと思う。

〔事務局〕貴重なご意見をありがとうございます。

【療養費支給申請書保険者点検事業について】

【委員】この事業の広域連合の役割・機能、動向は。

〔事務局〕県内ではこういった不正はないが、大阪など大都市圏で多く発生している。国としては、そういったところを中心に取り組んでいるようである。点検事業については、全国的に行っているため福井県でも実施している。

【委員】明らかに疑わしい申請書について照会をかけても、きちっとした回答をされると、それ以上入っていけないところもある。

【委員】事業実績について、平成28年度、平成29年度とも3割ほど疑義項目があったようだが、特定の人が何回も受けているのが、こういうデータとして挙がってくるのか。

〔事務局〕中には長期に渡って受診している人もいるが、一概に同じ人というわけではない。

【平成30・31年度保険料率改定について】

質問等なし